

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・歌詞の内容に合わせた歌声で歌うことができた。
- ・基礎的な学習を丁寧に行ったことで、表現の技能と意欲が高まった。
- ・楽曲の特徴や曲想の変化を感じ取って聴くことができた。

(2) 課題

- ・器楽分野において、自分の音や周りの音に耳を傾けて演奏することが苦手である。
- ・コロナ禍で鍵盤ハーモニカやリコーダーの活動が十分にできなかったため、奏法が定着していない児童がいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌ったり演奏したりする音楽経験を通して、音楽表現の楽しさに気付かせ、基礎的な表現の能力を育てる。	様々な音楽に親しみ、味わって聴くようにさせる。	リズム遊びや歌ったり演奏したりする音楽体験を多くし、音楽表現の楽しさに気付かせ、自ら音楽的活動に取り組めるようにしていく。歌や器楽演奏などの発表活動を取り入れていく。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
リコーダーの基本的奏法を身に付けさせ、技能を伸ばせるよう、指導を工夫していく。	歌詞の内容をイメージさせながら、曲想に合った表現を工夫できるようにさせる。音色や旋律な音楽を形づくっている要素を考えながら演奏できるようにさせる。	歌詞の内容を味わわせ、感じ取ったことを主体的に表現させていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽曲への興味を高める活動を行わせ、音楽を形づくっている要素を感じ取る能力を身に付けさせる。表現活動全体を通して記号や用語を理解させ、基礎的な演奏の技能を着実に身に付けさせる。	歌唱においては歌詞の内容をイメージさせ、描かれているメッセージを読み取る学習を取り入れて、思いや意図をもって表現活動ができるように指導する。曲想や情景、楽曲のもつメッセージを感じ取る力を育てていく。	歌詞の内容を味わわせ、感じ取ったことを主体的に表現して、興味を高めさせる。